

維 持 補 修 業 務 委 託 仕 様 書

総 則

- 1 この仕様書は、相模原市が発注する市道等維持補修業務委託（中央区その４）に適用する。
- 2 この仕様書に定めのない事項は、相模原市土木工事共通仕様書を適用するが、その適用範囲は監督員の指示によるものとする。

指示及び施工

- 1 受注者は、監督員と十分協議し、その指示によらなければならない。指示は、指示書の期間内においてその都度、工種指示一覧表にて指示するものとする。
- 2 受注者は、使用機材等の搬入、搬出及び、施工等にあたり、現場若しくは周辺の道路を損傷し、あるいは汚損することのないよう務めるとともに、第三者に損害を与えることのないよう十分注意しなければならない。
- 3 本業務の管理基準については、相模原市土木工事施工管理基準及び土木工事写真管理基準を適用する。

4 舗装道補修

受注者は、施工にあたり、路面に滞水することのないよう縦横断勾配等を考慮するとともに既設舗装、既設構造物の打継目部分にあつては段差、振動、亀裂等が生じないよう入念に施工しなければならない。特に、占用物周辺の勾配には注意し施工すること。

5 構造物小規模補修

受注者は、施工にあたり、道路境界標（プレート標等）の確認を入念に行うとともに、構造物の施工前に控え点を設置し、監督員の確認を得ること。復元に当たっては、その控え点から設置し、設置後、監督員の確認を得ること。

民々の境界標については現状のままで施工すること。また、やむを得ず入れ換えが必要な場合は、施工時及び復元時に関係地権者と立会い（確認）のうえで行うこと。

6 その他

受注者は、不陸整正工等の砂利道補修にあたり、民地の高さには十分注意すると共に、占用物に支障をきたさないよう施工すること。

特殊工種（契約以外の工種）の取扱について

- 1 施工内容が類似し品質や費用が同等と判断できる場合は、類似工種として適用し施工できるものとする。
- 2 類似工種の適用が困難な工種を施工する場合は、類似している契約工種に数量換算することができる。※小数点以下２位（３位切り捨て）

換算数量＝{特殊工種単価÷類似している設計工種単価}×施工数量

安全管理

- 1 施工中は交通誘導警備員を適切に配置し、工事区域の沿線住民や一般の歩行者及び、通行車両に十分な注意を払い、支障が出ないよう安全の確保に努めること。また、やむを得ず開口部や段差などを残して交通開放をする場合は、養生や段差すり付け等を行い、注意看板や保安灯等を設置し、工事区域内の安全を確保すること。
- 2 施工中、万一事故等が発生したときは速やかに適切な措置をとり、監督員に報告しなければならない。
- 3 施工に際しては、施工日程が決定後速やかに土地所有者及び関係住民に対し、お知らせ等を配布して、作業予定や方法等の周知を充分に行い、円滑な工事の進捗を図ること。また、出入口等に段差が生じる場合は、事前に地権者及び、利用者に十分に説明を行い、承諾を得てから施工に着手すること。
- 4 道路規制について、道路使用許可申請書を所轄する警察に提出し許可を得ること。また、施工時は所轄する警察の道路使用許可証を携帯し、その内容を遵守すること。

関係書類

- 1 受注者は、指示部分の業務完了時には関係書類を提出しなければならない。
- 2 受注者は、本契約完了時には業務総括集計書を提出するものとする。

施工数量の数値基準について

- 1 箇所別施工数量は小数点以下2位（3位切捨て）とする。
- 2 総施工数量は小数点以下1位（2位切捨て）とする。

疑義の解決

- 1 その他、設計図書、仕様書等に定めのない事項並びに疑義については速やかに監督員と協議し、その指示によらなければならない。